



ホームページアドレス http://www.midorinet-miyazaki.com/

## 目次

vol. 637

1.	水土里ネット宮崎 令和5年度第1回監事会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(2
2.	水土里ネット宮崎 令和5年度第1回理事会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(2
3.	宮崎県農業農村整備事業推進委員会並びに水土里ネット宮崎が宮崎県・県議会に要請 ・・・・・	(2
4.	全国農業集落排水事業推進協議会が通常総会を開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(3
5.	第45回全国土地改良大会福井大会が開催される ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(4
6.	令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno 開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(5
7.	地域計画のご紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(6
8.	宮崎県農業水利施設電気料金高騰対策支援事業について(ご案内)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(8



農村風景:田んぼアート(高千穂町大字三田井)

## 水土里ネット宮崎 令和5年度第1回監事会

#### 去る8月23日、本会2階役員会議室にて令和5年度第1回監事会を開催し、引き続き監査を実施した。

監事会は、徳地豊代表監事(水土里ネット大淀川左岸理事長)、中田友喜監事(水土里ネット速日峰理事長)、甲斐昭男監事(水土里ネット上野地区理事長)出席のもと開催し、令和5年度監査実施計画及び監査結果の処理方法を含む3議案が審議され、原案どおり承認された。

引き続き、令和4年度事業報告並びに一般会計収入支出決算の説明後、関係 書類、財務諸表、金銭出納処理及びこれらに伴う諸帳簿、証拠書類などについ て監査し、いずれも適正に運営、処理されていることが確認された。



監事会の様子

## 水土里ネット宮崎 令和5年度第1回理事会

#### 去る8月28日、本会は2階役員会議室にて令和5年度第1回理事会を開催した。

理事会は、宮原義久 会長(小林市長)をはじめ本会の理事・監事に加 え、県より小野正寛 農政水産部農村振興局長、鳥浦茂 農村計画課長、 城ケ﨑浩一 農村整備課長出席のもと開催した。

はじめに、宮原会長が「役員改選後、初めてとなる理事会。農業農村を取り巻く情勢は依然として厳しく、持続可能な農業農村の発展には、農業農村整備事業の推進並びに農業水利施設を保全管理する土地改良区の運営基盤強化が益々重要である。引き続き理事の皆様にはご支援・ご協力をお願いしたい。」と挨拶した。その後議事に移り、令和4年度事業報告並びに一般会計収入支出決算及び令和5年度一般会計収入支出補正予算(案)を含む3議案が審議され、原案どおり承認された。

また、議事終了後、県から情勢報告、本会からドローンを活用した災害状況確認と三次元解析の取組について情報提供を行った。



理事会の様子





三次元解析取り組み事例説明の様子

## 宮崎県農業農村整備事業推進委員会並びに 水土里ネット宮崎が宮崎県・県議会に要請

去る8月28日、宮崎県農業農村整備事業推進委員会(中別府尚文 委員長:国富町長)と水土里ネット宮崎(宮原義久 会長:小林市長)は、令和6年度当初予算の確保など、4項目について宮崎県・県議会へ要請した。

#### ●農業農村整備事業のさらなる推進に向け要請

委員長より、農業従事者の減少や激甚化する気象災害など本県の農業農村における課題を解決するためには、基盤整備の推進、農業水利施設の更新・長寿命化、これら施設を管理する土地改良区の運営基盤強化が重要であることを訴え、農業農村整備事業の更なる推進について要請した。

また、各管内代表者より、ほ場整備の必要性など地域の課題や実情を説明し、要請内容の補足説明を行った。

#### ●要請に対し河野知事からの回答

農業農村整備事業の推進について日頃よりご尽力いただき感謝申し上げる。県でも持続可能な魅力ある宮崎農業を目指し、生産基盤の整備、防災・減災対策等の事業推進を図るとともに、今年度より農村振興局を設置し、担い手・農地・基盤整備が一体となって支援する体制を強化した。引き続き、本県の農業農村の活性化を図るため連携して頑張りましょうと回答された。



河野俊嗣 知事への要請



濵砂守 県議会議長への要請



久保昌広 農政水産部長への要請

#### 要請事項

- 1 食料安全保障の強化に寄与する農業農村整備事業を計画的に実施するため、令和6年度県当初予算の十分な確保を図ること
- 2 持続可能な魅力あるみやざき農業を実現するため、営農や担い手対策・農地対策と一体となった農業農村整備事業を積極的 に推進すること
- 3 農業農村整備事業実施の指導的立場となる宮崎県においては、農業土木技術者の確保と、技術力維持・向上対策に努めること
- 4 土地改良区の運営基盤強化を図るため、統合整備の推進や女性理事登用の促進、多面的機能活動組織との連携など、的確な指 導を図ること

## 全国農業集落排水事業推進協議会が通常総会を開催

去る7月26日、全国農業集落排水事業推進協議会(家森茂樹 会長:水土里ネット滋賀会長)は、東京都千 代田区砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」にて、会員及び関係者約40名出席のもと、第34回通常総会 を開催した。同協議会は、農業集落排水事業の実施予定地区、実施地区及び完了地区相互が緊密な連携をと り、当該事業の円滑な推進を図るとともに活力ある農村の実現を目的として組織されている。

総会では、家森会長が開会挨拶した後、進藤金日子 参議院議員、武井一郎 農林水産省農村振興局整備部地域整備課 長、仲家修一 地域環境資源センター専務理事(一般社団法人)がそれぞれ祝辞を述べた。

※宮崎雅夫

、参議院議員は秘書対応

続いて議事に移り、令和4年度事業報告並びに同収支決算の承認を含む3議案が原案通り承認された。

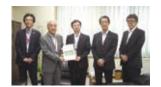
終了後、同協議会は農業集落排水事業予算の確保等について 関係機関へ提案要請活動を行った。

任期:令和4年4月1日~令和6年3月31日

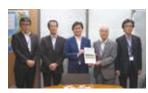
#### [要請先へ手交の様子]



横山紳 農林水産事務次官



青山健治 農村振興局次長



武部新 農林部会長



進藤金日子 参議院議員

	T		(近畿ブロック)
会長	家森	茂樹	(妊蔵プロック) 水土里ネット滋賀会長 大原貯水池土地改良区理事長
副会長	古味	実	(中国・四国ブロック) 高知県仁淀川町長
副会長	宮原	義久	(九州ブロック) 小林市長 水土里ネット宮崎会長
幹事	名城	政英	(沖縄ブロック) 伊江村長
幹事	伊藤	康志	(東北ブロック) 大崎市長 水土里ネット宮城会長
幹事	内藤	久夫	(関東ブロック) 韮崎市長 水土里ネット山梨会長
監事	山﨑	正昭	(北陸ブロック) 水土里ネット福井会長 参議院議員
監事	中根	俊樹	(東海ブロック) 水土里ネット愛知専務理事

#### 提案事項

- 1 未整備地区での農業集落排水施設の整備や、老朽化の進行等により急増する施設の更新需要への対応、併せて災害に備えた 強靱化への取組を推進するため、新設・更新整備を計画的に実施可能な農業集落排水事業予算の確保
- 2 老朽化した施設の更新事業を契機に、維持管理の効率的かつ経済的な施設に更新できるよう、維持管理適正化計画や最適整 備構想等の計画策定に必要な予算の確保及び、令和3年度に農山漁村地域整備交付金から農村整備事業に移行した地区等に おいて、その後の情勢の変化等により計画策定に時間を要している地区に対する経過措置の延長
- 3 農業集落排水施設における強靱化・グリーン化、脱炭素化に資する農業集落排水汚泥の循環利用やエネルギーの効率化を加 速するための支援の強化
- 4 維持管理負担の軽減を図るため、地域ニーズに即した維持管理情報等のデジタル化に向けた調査・検討の促進

## 第45回全国土地改良大会福井大会が開催される

# 「水土里」がある「幸福」がある「笑顔」がある

去る10月11日、全国水土里ネット(二階俊博会長)と水土里ネット福井(山﨑正昭会長)は、越前市のサンドーム福井にて、第45回全国土地改良大会福井大会を開催した。



水土里ネット福井 山﨑会長



全国水土里ネット 義經副会長

大会は、農業農村整備事業の役割を広くアピールすることを目的に毎年全国持ち回りで開催されている。今年度は全国津々浦々から参集した約4000名(本県出席者約50名)の関係者が、今ある幸せな暮らしを将来に向かって守って行くために必要な土地改良の大切さを"幸せの地 福井"で共有するとともに発信された。

式典では、山﨑会長が開会挨拶した後、二階会長(代読:義經賢二副会長)が主催者を代表して「永平寺を開山した道元禅師は、柄杓に組んだ水を必要な分だけ使ったら残りの水を元の川に戻したと言われています。どんなに水が豊かにあってもその一滴を戻せば下流で水を使う人の為になる。この「杓底一残水」の心は、土地改良の神髄であり、古来より先人の間で脈々と受け継がれてきた精神。この大会を通じて土地改良の大切さを全国の皆様と共有し発信していきましょう。」と挨拶した。

続いて、杉本達治 福井県知事、山田賢一 越前市長、佐々木勝久 鯖江市長が歓迎のことば、来賓の武村展 英農林水産副大臣、稲田朋美 衆議院議員、進藤金日子 都道府県水土里ネット会長会議顧問、宮崎雅夫 都 道府県水土里ネット会長会議顧問がそれぞれ祝辞を述べた。

引き続き土地改良事業功績者表彰が執り行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰44名がそれぞれ表彰された。本県からは、川野恒道水土里ネット宮崎市生目理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞した。

次に基調講演に移り、青山健治 農林水産省農村振興局次長が「未来へつなぐ土地改良」を講演した後、定司俊憲 水土里ネット南砺市理事長、川合久利子 水土里ネット福井理事が優良事例紹介として取組状況等を発表した。

大会宣言では、福井県立大学生物資源学部創造農学科の荒井湧太朗さんと、川端凛花さんが「本日"『水土里』がある『幸福』がある『笑顔』がある"のスローガンのもと、未来の土地改良区について語り、夢のある農業と賑わいのある農村の創出を目指すことをここ福井の地で高らかに宣言します。」と力強く宣言文を読み上げた。



青山次長による基調講演の様子

最後に、次期開催県である千葉県の紹介があり、大会旗が水土里ネット千葉へ引き継がれた。その後、 森英介水土里ネット千葉会長による次期開催県挨拶が行われ、大会は盛会裡に終了した。







事例発表:川合理事



大会宣言

## 本県の土地改良事業功労者表彰受賞者 川野恒道 水土里ネット宮崎市生日理事長が全国土地改良事業団体連合会長賞を受賞

氏は、組合員はじめ関係機関からの厚い信頼を受け、平成23年度より理事長に就任。翌年度からは、自ら活動組織の代表者として多面的機能支払交付金に取り組み、耕作者に集中していた土地改良施設の維持管理はもとより、景観形成や清掃など地域が一体となって管理する現在のスタイルへと導いた。

一方で、平成27年度からは宮崎県土地改良事業団体連合会の役員にも就任し、農業従事者の減少や高齢化等による農村集落の脆弱化といった構造的な課題への対策等について、自身がこれまでの経験から培った見識をもって国や県など行政機関に対し地元の熱意を強く要請するなど、地域農業の発展に寄与している。

これらの実績は、地域の人々からも慕われる温厚な人柄と卓越した指導力と発言力、強い責任感や情熱の賜であり、今日まで地域農業をけん引してきた姿勢が認められた。



川野理事長

## 令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno 開催

## ~ 今、はじめる。まずはあなたの「まち」の土地改良区から ~

去る9月27日、全国水土里ネット女性の会(根本由紀子 会長:水土里ネットかづの事務局長)と、あきた水土里ネット女性の会(同上)は、秋田県鹿角市「ホテル鹿角」にて、全国の水土里ネット女性会会員及び関係者約230名出席のもと、水土里ネット男女共同参画推進大会を開催した。この大会は、男女共同参画推進の意義をより一層深めるとともに、先進的取り組み事例等を学び、個々のスキルアップを図りながら、それぞれの地域において男女共同参画を推進し、新時代にふさわしい土地改良区の創造を図ることを目的として実施された。

はじめに、主催者を代表して根本会長が挨拶した後、来賓の宮崎雅夫 都道府県水土里ネット会長会議顧問、進藤金日子 都道府県水土里ネット会長会議顧問(代読)、室本隆司全国水土里ネット専務理事(代読)がそれぞれ祝辞を述べた。

その後に行われたパネルディスカッションでは、本県の奥村千扶子 水土里ネット大島堰理事長(日本のひなた水土里ネット女子会会長)を含む4名がパネラーとして『男女共同参画社会を実現するためには』をテーマに討論が実施された。中でも、「土地改良区と女性を近づけるには、どの様な手段があるか」との質問に対し、奥村理事長が「農業に従事する女性であっても、土地改良区のことを知らない方が多いと感じます。まずは、各都道府県の水土里ネット女性の会等を通じて、農業に関係する女性が横の繋がりを持つことが大切。女性が得意とするコミュニケーション能力を発揮し、そこからの波及効果で、土地改良区の存在や重要性について理解が深まっていくことを望んでいます。」と回答し賛同の拍手喝采を浴びた。

最後に、坂本由美子 あきた水土里ネット女性の会副会長が大会決議文を朗読し、満場一致で採択し大会は盛会裏に終了した。



大会の様子



パネラーとして発言する奥村理事長



当日出席した 日本のひなた水土里ネット女子会会員



## 地域計画のご紹介

近年、農業従事者の高齢化や人口減少の本格化により地域の農地が適切に利用されなくなることが 懸念される中、みなさまが描く農業の将来像の明確化に向けて、地域での話し合いに基づき作成してき ました「人・農地プラン」が「地域計画」へと名称が変わり法定化され、令和6年度末までに作成が必要と なりましたのでご紹介します。

## 地域農業の将来について みんなで話合ってみらんね!

いざという時、だれか農 地を引き受けてくれる人 はおるっちゃろうか

農地を集約できれば もう少し規模拡大で きるっちゃけど

今後も農業を続けて いくには基盤整備が 必要だなぁ

うちには後継者がお らんちゃけど・

うちの集落も、ずい ぶん遊休農地がおい なったなぁ

## たから今

5年先、10年先の地域の農地をだれが、 どうやって守っていくのか、農業に関係 する幅広い関係者で**話合い、地域計画** (旧人・農地プラン)を作成しましょう。



## ★土地改良区の皆様へのお願い

- ・地域計画の話合いの場では、農業用施設の状況や担い手が必 要とする基盤整備の要望、水利関係の情報が必要な場合があ ります。そのため、地域の状況に応じて、話合いの場への積 極的な参加や情報提供をお願いします。
- ・市町村・農業委員会からアンケートや協議の場の開催案内が あった場合は、御協力をお願いします。
- ・将来の農業を担う方への農地集積・集約への御理解と御協力 をお願いします。

## 地域計画の進め方

## 【地域計画とは?】

地域の農業をどのように維持・発展 させていくか、農地を誰が担っていく のか、**希望する基盤整備の内容**等の方 針を地域での話合いに基づいて定める、 地域の皆様の計画です。

地域計画の内容には農地1筆ごとに 将来誰が担っていくかを示した「目標 地図」も含まれます。

※地域計画は令和5年4月から法定化され、**令和6年度末までに作成** が必要です。 地域農業の将来について 話合い、取りまとめた 「地域計画」

機地1筆ごとに将来誰が 担うかを見える化する 「目標地図」

現況

## 【地域計画の作成手順】

## 1 話合いの場の設置・話合い

地域の幅広い関係者で話 合いの場を設け、地域の 将来について話合います。



## 2 話合いの結果をまとめて公表

話合いの結果を市町村がとりまとめて公表します。

## 3 地域計画の作成

話合いの結果をまとめて市 町村が地域計画を作成しま す。

## 4 地域計画の公表

農業に関係する機関や団体等へ の意見聴取などの手続を経て地 域計画が完成し公表されます。

## ●目標地図の作成(1~3の作業と並行して作成)

話合いの場等の機会を捉えて、耕作者・地権者の意向を確認し、農業委員会が目標地図の素案を作成します。この素案をもとに、地域で合意形成を図りながら目標地図を作成していきます。

#### 市町村が中心となり、関係機関・団体で支援します

市町村

農業委員会

農地バンク

JA

土地改良区

県

お問合せ先:最寄りの市町村

宮崎県担い手農地対策課農地集積担当 Tel 0985-24-1444

## 宮崎県農業水利施設電気料金高騰対策支援事業について(ご案内)

農業水利施設における電気料金高騰の負担軽減のため、宮崎県が実施する「宮崎県農業水利施設電気料金高騰対策支援事業」をご案内します。

#### 事業の目的

農業水利施設の電気料金高騰に対し、土地改良区等の省エネルギー化やコスト縮減への取組を促進するとともに、農業者への影響緩和のための補助を行うことで、土地改良区等の体質強化を図る。

## 事業の概要

#### ①電気料金高騰対策サポート事業

省エネルギー化やコスト縮減などの経営改善に取り組む土地改良区等に対し、アドバイザー等を派遣し、取組支援や改善計画策定への技術的な助言を実施



## ②電気料金高騰対策整備事業

改善計画に位置づけられた操作機器の設置・更新の取組 を定額で補助

例) 遠隔操作、自動運転及び高効率モータ制御等設備の設置





改善計画書の取組

高効率モータ 制御等

#### ③電気料金高騰対策支援事業(補助率 2分の1以内)

農業水利施設に係る電気料金の高騰額(令和3年度の各月と比較して)の2分の1を補助。

電気料高騰・電気料金の単価改定の影響



※<u>期間及び締切</u>:第1期(令和5年4月~11月分の高騰額)提出締切 12月27日(必着)

第2期(令和5年12月~令和6年2月分の高騰額)提出締切 3月11日(必着)

問い合わせ先: 宮崎県農政水産部 農村振興局 農村整備課

土地改良指導担当 主幹 元長 貴司

TEL:0985-26-7142 (直通)

水土里ネット宮崎 施設管理課 施設管理1係 主事 髙村 宗汰 TEL:0985-24-3498 (直通)

